



2025年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年1月29日

上場会社名 株式会社アドバンテスト 上場取引所 東
コード番号 6857 URL <https://www.advantest.com/ja/investors/>
代表者 (役職名) 代表取締役兼経営執行役員社長 Group C00 (氏名) 津久井 幸一
問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役員 CFO & CSO (氏名) 三橋 靖夫 TEL 03-3214-7500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	547,358	56.1	164,126	164.3	163,192	174.0	121,210	157.1	121,210	157.1	124,923	121.0
2024年3月期第3四半期	350,744	△15.0	62,099	△51.9	59,567	△55.2	47,143	△52.8	47,143	△52.8	56,518	△48.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	164.21	163.72
2024年3月期第3四半期	63.93	63.71

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「基本的1株当たり四半期利益」および「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	793,849	496,946	496,946	62.6
2024年3月期	671,229	431,178	431,178	64.2

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	65.00	—	18.00	—
2025年3月期	—	19.00	—		
2025年3月期 (予想)				20.00	39.00

(注) 1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細については、本日公表の「期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の第2四半期末については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2024年3月期の年間配当については、株式分割の実施により単純合算ができないため、表示しておりません。なお、株式分割を考慮しない場合の年間配当金は137円、株式分割を考慮する場合の年間配当金は34.25円です。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	740,000	52.1	226,000	176.9	225,000	187.8	167,500	168.9	167,500	168.9	227.74

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 詳細については、添付P.4「（4）今後の見通し」および本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」は、2024年12月31日現在の「期末発行済株式数（自己株式を含む）」から「期末自己株式数」を除いた株式数を、期中平均株式数とみなして算定しております。
 詳細な株式数は、※注記事項（3）発行済株式数（普通株式）をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	766,141,256株	2024年3月期	766,141,256株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	30,668,193株	2024年3月期	27,729,675株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	738,151,562株	2024年3月期3Q	737,459,866株

- （注） 1. 期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。
 2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 経営成績の概況	P. 2
(2) 財政状態の概況	P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9
2024年度第3四半期決算(連結)の概要	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日~2024年12月31日)の状況 (単位:億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	3,507	5,474	56.1%
営業利益	621	1,641	2.6倍
税引前四半期利益	596	1,632	2.7倍
四半期利益	471	1,212	2.6倍

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米諸国を中心とした金融引き締め政策が緩和に向かう中で、全体として底堅く推移しました。一方で長期化するウクライナ、中東情勢など地政学リスク上昇に伴う先行きへの不確実性も高まりました。

このような世界経済情勢のもと、半導体市場は、前年同期の調整局面から一転して回復傾向となりました。自動車や産業機器関連などのAI用途以外の半導体は依然として軟調に推移したものの、データセンタ向けのHPCデバイスや高性能DRAMなど、AIの普及に関連する半導体需要が市場の伸びを牽引しました。

当社グループの半導体試験装置ビジネスにおいては、AI関連の高性能半導体向け需要が大幅に拡大しました。当社グループは、顧客の要求納期に最大限応えるべく、タイムリーな部材調達および製品供給能力の確保に努めました。コア部品に対する既存サプライヤーとの長期契約やサプライチェーン複雑化などの施策を通じた取り組みが奏功しました。

この結果、売上高は5,474億円(前年同期比56.1%増)、営業利益は1,641億円(同2.6倍)、税引前四半期利益は1,632億円(同2.7倍)、四半期利益は1,212億円(同2.6倍)となりました。旺盛な試験装置需要と高収益製品の販売比率上昇、円安による増収・増益効果などにより、いずれも第3四半期連結累計期間における過去最高額を更新しました。当第3四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが152円(前年同期142円)、ユーロが165円(同154円)、海外売上比率は97.6%(前年同期96.1%)でした。

セグメントの業績は次のとおりです。

<半導体・部品テストシステム事業部門> (単位:億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	2,400	4,142	72.6%
セグメント利益(△損失)	653	1,607	2.5倍

当部門では、自動車や産業機器関連などの成熟半導体向け試験装置需要は軟調である一方で、半導体の複雑性の増加、HPCデバイスなどの性能向上を背景に、高性能SoC半導体用試験装置の売上が大幅に増加しました。メモリ半導体用試験装置については、HBMをはじめとする高性能DRAMに向けた旺盛な試験装置需要を背景に売上が大幅に伸長しました。

以上により、当部門の売上高は4,142億円(前年同期比72.6%増)、セグメント利益は1,607億円(同2.5倍)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	359	551	53.5%
セグメント利益(△損失)	49	133	2.7倍

当部門では、旺盛な半導体試験装置需要を背景に、関連するデバイス・インタフェースの売上が伸長しました。ナノテクノロジー関連の売上も増加しました。

以上により、当部門の売上高は551億円(前年同期比53.5%増)、セグメント利益は133億円(同2.7倍)となりました。

<サービス他部門>

(単位：億円)

	2024年3月期 第3四半期連結累計期間	2025年3月期 第3四半期連結累計期間	前年同期比
売上高	748	781	4.4%
セグメント利益(△損失)	43	57	33.5%

当部門では、当社グループ製品の設置台数の増加に伴いサポート・サービスの売上が伸長しました。利益面では、増収に加え、売上ミックスの変動により、当セグメントの収益性が改善しました。なお、前年同期のセグメント利益は、取引先との係争に関する受取和解金等による利益約32億円を含んでいます。

以上により、当部門の売上高は781億円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益は57億円(同33.5%増)となりました。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期末の総資産は、現金および現金同等物が893億円、営業債権およびその他の債権が227億円、棚卸資産が84億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比1,226億円増加の7,938億円となりました。負債合計は、未払法人所得税が321億円、営業債務およびその他の債務が120億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比569億円増加の2,969億円となりました。また、資本合計は4,969億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比1.6ポイント減少の62.6%となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当第3四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より893億円増加し、1,960億円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益1,632億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の増加(△223億円)、法人所得税の支払額(△118億円)、営業債務およびその他の債務の増加(105億円)に減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、1,704億円の収入(前年同期は、28億円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、164億円の支出(前年同期は、219億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(△120億円)と子会社の取得による支出(△38億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、653億円の支出(前年同期は、124億円の収入)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出(△340億円)と配当金の支払(△271億円)によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、世界経済における地政学リスクの上昇懸念など、先行きの不確実性が増しています。一方で、暦年2025年の半導体市場は、前年に引き続きAI関連向け半導体需要が牽引するものと見えています。半導体試験装置市場においても、自動車や産業機器向けなどのAI関連用途以外の需要回復にはなお時間を要するものの、半導体の複雑化および生産拡大を背景にAI関連向けでの高水準な試験装置需要の継続を見込みます。AIに関連した半導体に参入する企業の増加もこの需要の底支えをするものと考えます。

これらの見通しおよび当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を次のとおりに修正します。売上高は2024年10月時点の6,400億円から7,400億円へ、営業利益は1,650億円から2,260億円へ、税引前利益は1,625億円から2,250億円へ、当期利益は1,220億円から1,675億円へ、それぞれ上方修正します。当連結会計年度第4四半期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが140円、ユーロが155円です。

なお、米国が主導する半導体製造装置の対中輸出規制に関し、現行法令において当連結会計年度の業績に対する直接的な影響は限定的と考えておりますが、引き続き今後の状況を注視してまいります。

中長期的には、半導体市場の拡大に加えて半導体サプライチェーンにおける複雑性への対応が業界における構造課題となる中で、当社グループの事業機会は拡大するものと考えています。こうした環境下、当社グループは当連結会計年度を初年度とする第3期中期経営計画で掲げた施策を推し進め、中長期的なステークホルダーへの提供価値拡大に取り組んでまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	106,702	196,045
営業債権およびその他の債権	88,855	111,579
棚卸資産	204,389	212,759
その他の流動資産	20,315	17,738
流動資産合計	420,261	538,121
非流動資産		
有形固定資産	78,884	78,845
使用権資産	19,106	16,905
のれんおよび無形資産	98,514	104,830
その他の金融資産	20,139	17,560
繰延税金資産	33,423	36,525
その他の非流動資産	902	1,063
非流動資産合計	250,968	255,728
資産合計	671,229	793,849
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	76,863	88,901
未払法人所得税	10,262	42,352
引当金	8,668	11,833
リース負債	5,147	5,338
その他の金融負債	1,868	9,502
その他の流動負債	23,469	25,270
流動負債合計	126,277	183,196
非流動負債		
借入金	75,143	75,820
リース負債	14,153	11,793
退職給付に係る負債	19,134	19,153
繰延税金負債	3,934	4,614
その他の非流動負債	1,410	2,327
非流動負債合計	113,774	113,707
負債合計	240,051	296,903
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	45,441	45,767
自己株式	△56,353	△88,451
利益剰余金	355,299	448,818
その他の資本の構成要素	54,428	58,449
親会社の所有者に帰属する持分合計	431,178	496,946
資本合計	431,178	496,946
負債および資本合計	671,229	793,849

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	350,744	547,358
売上原価	△174,348	△241,507
売上総利益	176,396	305,851
販売費および一般管理費	△117,775	△141,690
その他の収益	3,730	1,050
その他の費用	△252	△1,085
営業利益	62,099	164,126
金融収益	866	1,369
金融費用	△3,398	△2,303
税引前四半期利益	59,567	163,192
法人所得税費用	△12,424	△41,982
四半期利益	47,143	121,210
四半期利益の帰属 親会社の所有者	47,143	121,210
1株当たり四半期利益		
基本的	63.93円	164.21円
希薄化後	63.71円	163.72円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期利益	47,143	121,210
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	—	△308
その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の公正価値の純変動	△3,752	△2,488
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	13,127	6,509
税引後その他の包括利益	9,375	3,713
四半期包括利益	56,518	124,923
四半期包括利益の帰属 親会社の所有者	56,518	124,923

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2023年4月1日 残高	32,363	44,622	△59,099	319,171	31,637	368,694	368,694
四半期利益				47,143		47,143	47,143
その他の包括利益					9,375	9,375	9,375
四半期包括利益	—	—	—	47,143	9,375	56,518	56,518
自己株式の取得			△16			△16	△16
自己株式の処分		△1,153	2,247	△423		671	671
自己株式の消却			36	△36		—	—
配当金				△24,890		△24,890	△24,890
株式に基づく報酬取引		1,204				1,204	1,204
所有者との取引額等合計	—	51	2,267	△25,349	—	△23,031	△23,031
2023年12月31日 残高	32,363	44,673	△56,832	340,965	41,012	402,181	402,181

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2024年4月1日 残高	32,363	45,441	△56,353	355,299	54,428	431,178	431,178
四半期利益				121,210		121,210	121,210
その他の包括利益					3,713	3,713	3,713
四半期包括利益	—	—	—	121,210	3,713	124,923	124,923
自己株式の取得		△13	△34,023			△34,036	△34,036
自己株式の処分		△1,663	1,925	△44		218	218
配当金				△27,339		△27,339	△27,339
株式に基づく報酬取引		2,002				2,002	2,002
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△308	308	—	—
所有者との取引額等合計	—	326	△32,098	△27,691	308	△59,155	△59,155
2024年12月31日 残高	32,363	45,767	△88,451	448,818	58,449	496,946	496,946

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	59,567	163,192
減価償却費および償却費	19,132	20,979
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	19,157	△22,288
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△36,178	△5,176
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△20,933	10,527
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	223	3,168
預り金の増減額 (△は減少)	166	2,657
前受金の増減額 (△は減少)	2,285	4,566
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△632	△86
その他	△228	4,602
小計	42,559	182,141
利息および配当金の受取額	826	1,338
利息の支払額	△1,101	△1,308
法人所得税の支払額	△45,076	△11,806
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	△2,792	170,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
資本性金融商品の売却による収入	1,150	—
有形固定資産の取得による支出	△14,079	△11,991
無形資産の取得による支出	△564	△1,407
子会社の取得による支出	△8,260	△3,815
その他	△184	770
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△21,937	△16,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	40,000	—
自己株式の処分による収入	627	219
自己株式の取得による支出	△16	△34,044
配当金の支払額	△24,625	△27,080
リース負債の返済による支出	△3,602	△4,004
その他	△2	△387
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	12,382	△65,296
現金および現金同等物に係る換算差額	2,527	717
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△9,820	89,343
現金および現金同等物の期首残高	85,537	106,702
現金および現金同等物の四半期末残高	75,717	196,045

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループは、半導体・部品テストシステム製品群とテスト・ハンドラやデバイス・インタフェース等のメカトロニクス関連製品群の製造・販売を主な事業内容とし、その他にこれらに関連する研究開発および保守・サービス等の事業活動を展開しております。当社グループは3つの報告可能な事業セグメントを有しております。これらの報告可能な事業セグメントは、製品と市場の性質に基づいて決定され、経営者が経営意思決定のために使用する財務情報と同様の基礎情報を用いて作成されております。

半導体・部品テストシステム事業部門は、半導体・電子部品産業においてテストシステム製品を顧客に提供することを事業としております。この事業部門は、S o C半導体デバイス向けのS o Cテスト・システム、メモリ半導体デバイス向けのメモリ・テスト・システムなどの製品群を事業内容としております。

メカトロニクス関連事業部門は、半導体デバイスをハンドリングするメカトロニクス応用製品のテスト・ハンドラ、被測定物とのインタフェースであるデバイス・インタフェースおよびナノテクノロジー関連の製品群を事業内容としております。

サービス他部門の内容は、上記の事業に関連した総合的な顧客ソリューションの提供、半導体やモジュールのシステムレベルテストのソリューション、サポート・サービス、消耗品販売、中古販売および装置リース事業等で構成されております。

2. 報告セグメントに関する情報

当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益（△損失）をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

株式報酬費用は、業績連動型株式報酬および譲渡制限付株式報酬の費用であります。

報告セグメントの利益（△損失）は、株式報酬費用調整前営業利益（△損失）をベースとしております。

セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	240,037	35,881	74,826	—	350,744
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	240,037	35,881	74,826	—	350,744
セグメント利益（△損失）（調整前営業利益（△損失））	65,250	4,878	4,296	△10,991	63,433
（調整）株式報酬費用	—	—	—	—	△1,334
営業利益	—	—	—	—	62,099
金融収益	—	—	—	—	866
金融費用	—	—	—	—	△3,398
税引前四半期利益	—	—	—	—	59,567

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	半導体・部品 テスト システム事業	メカトロ ニクス関連 事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	414,185	55,069	78,104	—	547,358
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	414,185	55,069	78,104	—	547,358
セグメント利益（△損失）（調整前営業利益（△損失））	160,748	13,310	5,734	△13,664	166,128
（調整）株式報酬費用	—	—	—	—	△2,002
営業利益	—	—	—	—	164,126
金融収益	—	—	—	—	1,369
金融費用	—	—	—	—	△2,303
税引前四半期利益	—	—	—	—	163,192

（注）1. 全社に含まれるセグメント利益（△損失）への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2. 前第3四半期連結累計期間におけるサービス他のセグメント利益には、取引先との係争に関する受取和解金等3,179百万円が含まれます。

2025年1月29日
株式会社アドバンテスト

2024年度第3四半期決算（連結）の概要

1. 損益

(単位:億円)

	2023年度 実績	2024年度実績						2024年度業績予想		
		1Q	2Q	3Q	2Q比	3Q累計	前年同期比	通期	前年度比	
売上高	4,865	1,387	1,905	2,182	14.5%	5,474	56.1%	(6,400)	7,400	52.1%
売上原価	△2,405	△618	△804	△993	23.5%	△2,415	38.5%	—	—	—
販売費および一般管理費	△1,590	△456	△468	△494	5.3%	△1,418	20.3%	—	—	—
その他の収益・費用	△54	0	3	△3	—	△0	—	—	—	—
営業利益 (売上高比率)	816 (16.8%)	313 (22.6%)	636 (33.4%)	692 (31.8%)	9.0%	1,641 (30.0%)	2.6倍	(1,650) (30.5%)	2,260	2.8倍
金融収益・金融費用	△34	6	△29	14	—	△9	—	—	—	—
税引前当期利益 (売上高比率)	782 (16.1%)	319 (23.0%)	607 (31.9%)	706 (32.3%)	16.2%	1,632 (29.8%)	2.7倍	(1,625) (30.4%)	2,250	2.9倍
法人所得税費用	△159	△80	△153	△187	22.5%	△420	3.4倍	—	—	—
当期利益 (売上高比率)	623 (12.8%)	239 (17.2%)	454 (23.9%)	519 (23.8%)	14.1%	1,212 (22.1%)	2.6倍	(1,220)	1,675	2.7倍

(注) 上段()の数値は、2024年10月30日発表時の予想であります。

2. 財政状態

(単位:億円)

	2023年度 実績	2024年度実績				2Q比
		4Q末	1Q末	2Q末	3Q末	
総資産	6,712	7,232	7,621	7,938	4.2%	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	4,312	4,569	4,758	4,969	4.4%	
親会社所有者帰属持分比率	64.2%	63.2%	62.4%	62.6%	—	

3. 配当の状況

(単位:円)

	2023年度実績			2024年度		
	中間	期末	年間	中間	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	65.00	18.00	—	19.00	20.00	39.00

(注) 当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

2023年度の中間配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2023年度の年間配当については、株式分割の実施により単純合算ができないため、表示しておりません。

なお、株式分割を考慮しない場合の年間配当金は137円、株式分割を考慮する場合の年間配当金は34.25円です。